



## IM Compliance Serviceability とトラブルシューティング

---

- 「Cisco UP XCP Router サービスの再起動」 (P.3-1)
- 「IM Compliance をサポートするためのトレース レベルの「Info」 への設定」 (P.3-2)
- 「Cisco Unified Presence IM Compliance 用アラームの設定」 (P.3-2)

### Cisco UP XCP Router サービスの再起動

コンプライアンスの設定を変更後は、Cisco UP XCP Router サービスを再起動する必要があります。

#### 手順

---

- ステップ 1** [Cisco Unified サービスアビリティ (Cisco Unified Serviceability) ] > [Tools] > [Control Center - Network Services] の順に選択します。
  - ステップ 2** [Server] リスト ボックスで、サーバを選択します。
  - ステップ 3** [Go] をクリックします。
  - ステップ 4** [CUP Services] セクションで、[Cisco UP XCP Router] サービスの横にあるオプション ボタンを選択します。
  - ステップ 5** [Restart] をクリックします。
  - ステップ 6** 再起動に時間がかかる場合があることを示すメッセージが表示されたら、[OK] をクリックします。
-

## IM Compliance をサポートするためのトレース レベルの「Info」への設定

Message Archiver コンポーネントでは Cisco UP XCP ルータのログ機能を使用されますが、この機能の使用にあたってはトレース レベルが「Info」以上に設定されている必要があります。



**(注)** Cisco Unified Presence では、Cisco UP XCP ルータのトレース レベルはデフォルトで「Info」に設定されます。トレース レベルを「Info」よりも低いレベルに変更すると、コンプライアンス機能が Cisco Unified Presence で正しく機能しなくなります。

### 手順

- ステップ 1 Cisco Unified Presence の管理ページにログインします。
- ステップ 2 Cisco Unified Presence のメイン ウィンドウの右上にあるメニューで、[ナビゲーション (Navigation)] > [Cisco Unified サービスアビリティ (Cisco Unified Serviceability)] の順に選択します。
- ステップ 3 [Trace] > [Configuration] の順に選択します。
- ステップ 4 [Server] リスト ボックスから、トレースの設定対象であるサービスを実行しているサーバを選択して [Go] をクリックします。
- ステップ 5 [Service Group] リスト ボックスで [CUP Services] を選択し、[Go] をクリックします。
- ステップ 6 [Service] リスト ボックスで [Cisco UP XCP Router] サービスを選択し、[Go] をクリックします。
- ステップ 7 [Trace On] を選択します。
- ステップ 8 [Trace Filter Settings] で [Debug Trace Level] として [Info] を選択します。

## Cisco Unified Presence IM Compliance 用アラームの設定

Cisco Unified Presence と外部データベースとの接続が失われても、ユーザ間でのインスタントメッセージの送信は引き続き可能です。ただし、これらのメッセージはアーカイブされず、どの適合認定のガイドラインも満たされなくなります。この接続が失われたときに通知を受けるためには、この状態に関連するアラームが正しく設定されていることを確認する必要があります。

### 手順

- ステップ 1 Cisco Unified Presence の管理ページにログインします。
- ステップ 2 Cisco Unified Presence のメイン ウィンドウの右上にあるメニューで、[ナビゲーション (Navigation)] > [Cisco Unified サービスアビリティ (Cisco Unified Serviceability)] の順に選択します。
- ステップ 3 [Alarm] > [Configuration] を選択します。
- ステップ 4 [Server] リスト ボックスで、アラームを設定するサーバを選択します。
- ステップ 5 [Go] をクリックします。
- ステップ 6 [Service Group] リスト ボックスで [CUP Services] を選択します。

- ステップ 7 [Go] をクリックします。
  - ステップ 8 [Service] リスト ボックスで [Cisco UP XCP Message Archiver] を選択します。
  - ステップ 9 [Go] をクリックします。
  - ステップ 10 必要に応じてアラーム設定を行います。
  - ステップ 11 [Save] をクリックします。
-

